

越後佐渡おもひろ歴史ばなし

みんなで売ってみんなが儲かる—新潟町の魚屋たち—

江戸時代の新潟町(正式名称は新潟浜村)は湊町でした。新潟町では、同じ商売をする店が特定の地域に集まっていました。これを町座^{まちざ}といいます。このような形は、城下町などに多く見られます。新潟町の町座には、本町通り信濃川前の材木問屋が並ぶ材木町(現在の上大川前通り 1、2 番町(注))や、本町通り二の町から十七軒町(現在の本町通り 5～10 番町)の絹布・繰綿・小間物などを扱う表店^{おもてだな}などがありました。

魚屋にも町座がありました。魚屋といっても問屋に当たる大助買^{おおすけこ}と、天秤棒を担いで魚を売り歩く小助買^{すけこ}があり、大助買が集まって、本町通り十四軒町に「助買町(肴町)」をつくり、町座を形成していたのです。場所は現在の本町通11番町西側です。また大助買は、まとめ役である年行事などの役員を決め、魚販売の決まりも作っていました。一方、小助買は決まった町には住んではおらず、同業組合である株仲間^{さかなまち}はありましたが、町座を形成してはいませんでした。

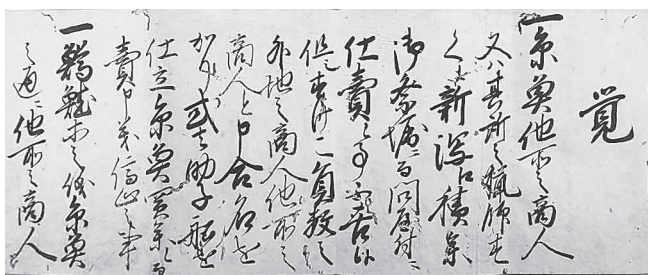
大助買と小助買は、魚の販売をめぐるたびたび争いました。両者の争いが話し合いで解決しない場合は、新潟町奉行所に訴えます。奉行所では両者の言い分を聞き、証拠書類をもとに裁決を下しました。元文元年(1736)の町奉行所からの「申渡」に、その裁定が見えます。新潟から離れた村上などの漁師が魚

を持ってきたときは、大助買がその者の魚販売方法を決めるとし、一方、新潟町から近い関屋で捕った鮭と鱒は、大助買と小助買の両者が買い販売してよい、という裁定でした。

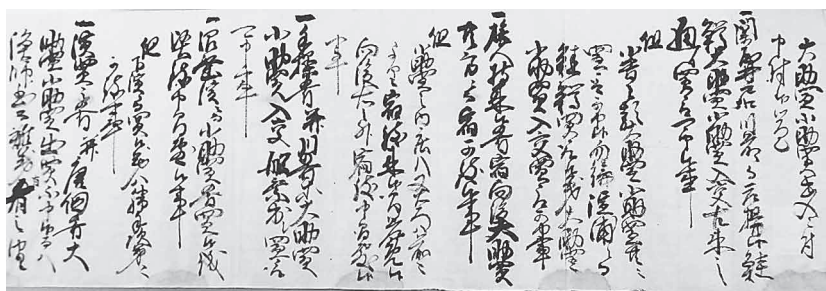
問屋である大助買は、自分たちの権利を守ろうとし、小助買はそれに対抗して自らの販売権拡大をめざしていたのでしょう。奉行所の裁定は、両者が商売を続けていくことができるように、配慮されたものになっています。

同一地域で、どちらかを排除するのではなく、互いに競争させながらも、経済活動を盛り上げる仕組みを築きあげていっているようにもみえます。

(注)江戸時代の信濃川の川幅は、現在の信濃川の川幅に比べて広がったため、このようになっていました。



大助買と小助買の販売する魚について定めています。
【「覚」貞享 5 年(1688) 9 月晦日】(請求記号 E1015-9)



【「大助買小助買出入二付申付候覚」元文元年(1736)】
(請求記号 E1015-188)

◆令和5年度 特別企画展 「絵葉書が語る近代—明治・大正・昭和の新潟」

令和5年10月17日(火)から11月5日(日)の期間にて、特別企画展「絵葉書が語る近代—明治・大正・昭和の新潟—」を開催しました。展示の概要を紹介します。



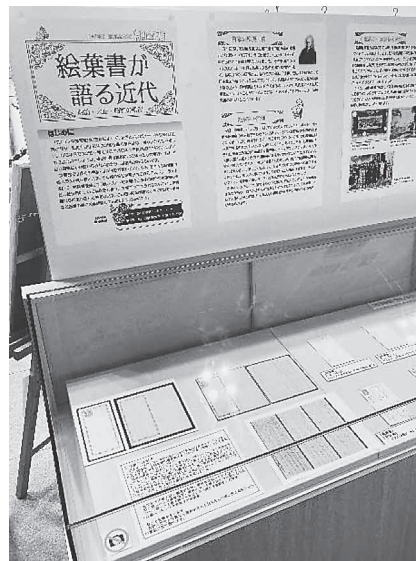
〈エントランス展示〉

エントランスでは「日本の郵便制度」「絵葉書の役割」「日露戦争と絵葉書の流行」「絵葉書の年代推定方法」について説明しました。また、資料展示も行いました。

〈閲覧室展示〉

1. 新潟県内を写した絵葉書

全国的に鉄道網の整備が進んだ大正末期から昭和初期にかけて、各自治体は観光を重要な産業として注目し、地元の観光名所を題材にした多数の絵葉書が発行されました。カメラがまだ普及していない時代、旅行先の思い出とした多くの絵葉書が出回っていたことがよく分かります。

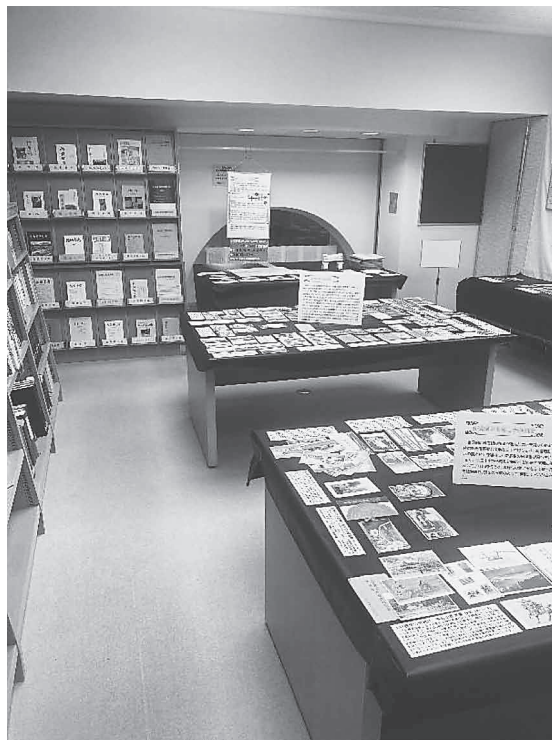


2. 災害を伝える絵葉書—フェイクニュースとフェイク画像— 新潟県の災害

長岡の大雪や関東大震災が写し出された絵葉書を展示しました。またパネルでは関東大震災時に出回った捏造写真を用いた絵葉書や栃尾水害についても取り上げました。

3. 皇室関係の絵葉書

戦前の大日本帝国憲法下において、天皇は国の元首であり、神聖にして侵すことのできない存在として位置づけられていました。本コーナーでは、大正・昭和天皇の即位式(御大典)を中心に、皇室が絵葉書にどのように取り上げられていたかを紹介・展示しました。



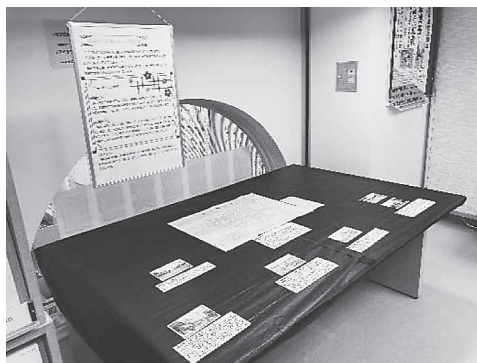
4. 軍事郵便と戦争絵葉書

軍事郵便は戦地へ出征した軍人が差し出す郵便のことで、始まりは日清戦争直前の明治27(1894)年にさかのぼり太平洋戦争の終戦直後まで続きます。戦場で兵士たちは郵便料金を払わずに無料で家族などへ郵送することができました。ここでは軍事的図案の絵葉書を中心に紹介しました。



5. 新潟市内を写し出した絵葉書(中学生企画)

職場体験に来てくれた新潟市立鳥屋野中学校の生徒さん2名から新潟市内を写し出した絵葉書の展示を手伝っていただきました。現在とは異なる町並みを学生の視点から解説していただき、とても興味深い展示となりました。



◇令和5年度 第1回～第4回企画展 紹介

令和5年度は「過去からの手紙～古文書と資料が語る昔の人々の生活～」と題しまして文書館所蔵資料の中から近世の人々の生活・日常に関する話題をご紹介します。各回の企画内容は以下の通りです。

○第1回 「母も子供も命がけー江戸時代の妊娠と出産ー」

〔5月16日(火)から7月30日(日)まで〕

○第2回 「いつの時代もお祭り騒ぎー古文書から読み解く

江戸・明治時代の祭りー」

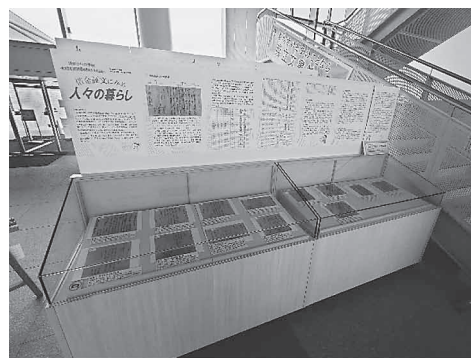
〔8月1日(火)から11月19日(日)まで〕

○第3回 「借金証文にみる人々の暮らし」

〔11月21日(火)から2月18日(日)まで〕

○第4回 「家の足跡ー宗門人別帳と遺言状から見える家の相続ー」

〔2月20日(土)から5月12日(日)まで〕



令和6年度 文書館主催講座一覧

○古文書解読講座

講座名	日程	会場	定員	申込開始日
はじめての古文書講座（春季）	5/15・22・29（水）	制作演習室	15名	4/16（火）
はじめての古文書講座（秋季）	11/12・19・26（火）	大研修室	15名	10/11（金）
古文書初級解読講座（夏季）	7/17・24・31（水）	大研修室	45名	6/18（火）
古文書初級解読講座（冬季）	A：12/11・18（水） B：12/13・20（金）	大研修室	45名	各コースとも 11/7（木）
古文書輪読会（旧文書館講座Ⅰ） ※中・上級者向け	6月～2月（計8回） （月に1回ペース） 6/19,7/10,8/21,10/9 11/20,12/25,1/15,2/26	大研修室	20名	5/21（火）

※時間はすべて13：30～15：30の2時間です。
 ※テキスト代として100円が必要です（古文書輪読会は500円）。
 ※古文書初級解読講座（冬季）については、A・Bコースともに同一内容です。

○文書館講座

※講師は文書館職員です。

文書館講座	日程	会場	定員	申込開始日
	1月29日（水）	大研修室	45名	1/7（火）

※時間は13：30～15：30の2時間です。 ※テキスト代として100円が必要です。

○「新潟県の歴史」講座

※講師は県内外の歴史研究者を予定しています。

歴史講演会	講座回	日程	会場	定員	申込開始日
	第1回	9/21（土）	ホール	180名	8/21（水）
	第2回	3/1（土）	ホール	180名	1/31（金）

※時間はいずれも13：30～15：30の2時間です。 ※受講無料

○特別企画展解説講座

※A・Bコースともに同一内容です。

コース	日程	会場	定員	申込開始日
Aコース	10/29（火）	大研修室	45名	各コースとも 9/25（水）
Bコース	11/6（水）	大研修室	45名	

※時間はいずれも13：30～14：30の1時間です。 ※受講無料

◇日程及び定員は、令和5年度末時点での予定です。今後、変更する可能性がありますので、詳しくは申込開始時の各講座のチラシをご確認ください。

アーキビスト 文書館職員随想

当館で毎年実施している事業の一つに「歴史資料所在確認調査」がある。上越、中越、下越、佐渡の4地区ごとに4名ずつの外部調査員を置き、文書館職員とともに各地区で所蔵している歴史資料の現状確認と記録を行う調査である。私が担当する上越地区では今年度、上越市吉川区（旧吉川町）を調査対象とし、歴史資料を所蔵している個人宅を1軒1軒訪問して現状を確認していくという方法で調査を実施した。

事前に訪問する個人宅を選定する過程で分かったことは、約30年前の『吉川町史』編纂時には健在であった所蔵者が亡くなり、子孫に引き継がれず、所在不明となっている資料が多々あることである。背景には、過疎化のため、子孫が都会へ出てしまっていること、貴重な歴史資料であることが家の人にも認識されておらず、引越しや建替えの際に廃棄されてしまったと思われることなどがある。

このような状況を見ると、歴史資料をいかに保存し、後世に伝えていくかは、今後文書館が中心とな

って取り組むべき喫緊の課題であるといえる。その意味で、今回のように個人宅を1軒1軒訪問する調査方法は、資料の重要性を所蔵者や家族に伝えていくという意味でも、また文書館などの所蔵施設に寄贈・寄託するという方法があるということを知っていただくという意味でも有効である。今回訪問した個人宅の資料のうち、2軒の資料は上越市に受け入れていただくことが決まり、資料の散逸を防ぐことができた。今後も市町村と協力しながら、地域の宝である歴史資料の保存、後世への伝承に向けて全力を挙げて取り組んでいきたい。（井上記）

編集・発行 新潟県立文書館

〒950-8602 新潟市中央区女池南3丁目1番2号
 TEL 025-284-6011 FAX 025-284-8737
 URL <https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/1b8446f94c08f7ae67441d7d895601a6>
 E-mail archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp